2026 年度

入学試験要項

神奈川大学の入試は
インターネット出願
です

編　入　学　試　験

編入学試験　英語検定有資格者

社会人編入学試験

KU 神奈川大学

目　次

Ⅰ　神奈川大学の３つのポリシーと各学部のアドミッション・ポリシー …… 1

Ⅱ　入試カレンダー …… 2

Ⅲ　入学検定料 …… 3

Ⅳ　出願方法 …… 4

Ⅴ　編入学試験 …… 5 ～10

Ⅵ　編入学試験　英語検定有資格者 …… 11～14

Ⅶ　社会人編入学試験 …… 15～18

Ⅷ　2025年度　編入学者の卒業要件単位数と認定単位数（参考）…… 19

Ⅸ　受験上の注意 …… 20～21

Ⅹ　学　費 …… 22

Ⅺ　奨学金 …… 23

Ⅻ　障がいおよび病気等のある方へ …… 24

XIII　入試結果 …… 24

XIV　アクセス …… 25～26

XV　神奈川大学の個人情報（及び保有個人データ）の取り扱いについて …… 27

I 神奈川大学の３つのポリシーと各学部のアドミッション・ポリシー

神奈川大学の学士課程教育に関する基本方針（３つのポリシー）

本学は、「質実剛健」「積極進取」「中正堅実」の建学の精神と、真の実学を重視する伝統を踏まえ、自立した良識ある市民としての判断力と実践的能力、また、国際的感性とコミュニケーション能力を有し、さらに専門的知識と技能を身に付け、時代の課題と社会の要請に応えて自ら成長することのできる人材を養成するために、次の３つの基本方針を定めます。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）】

真の実学を重視する本学の教育理念に共感し、明確な目的意識とともに、学びや成長への強い意欲に溢れ、また、大学教育を受けるに足る、十分な学力を有する多様な学生を受け入れます。

この目的を実現するため、入試制度の多様化と選抜方法の改善を図るとともに、初年次教育の充実や高大連携を積極的に推進します。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

本学は、４年間の学士課程において、全学の学生一人一人に共通して修得が求められる学士として持つべき力の実現のため、全学共通の基礎教育と各学部・学科の導入教育とを有機的に連関させることにより、必要かつ十分な基礎的学力を修得させます。

また、各学部・学科では、その培われた基礎的学力を発展させる多様かつ高度な体系的専門教育課程を編成することにより、真の実学を具現します。

教育課程の実施にあたっては、「ゼミ・卒研の神大」の伝統を生かす少人数教育と双方向型授業をより充実させるとともに、学生の学習時間を確保し、また、成績評価を厳格化することによって単位制度の実質化をはかります。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

本学の学生は、本学の真の実学を重視する伝統を踏まえ、自ら成長し、かつ他者と協力しながら社会で生き生きと活躍できる人材となることが求められます。

そのために、幅広い教養と、新しい時代に必要とされる専門的かつ体系的な知識、また、それに裏打ちされた技能を修得し、さらに地球的視野をもって考え、語り合うとともに、他者との協働を追求し、問題解決に向けて実践できる能力を備えたと認められる学生に、学位を授与します。

各学部のアドミッション・ポリシー

神奈川大学では、学部ごとにアドミッション・ポリシーを定めています。
各学部のアドミッション・ポリシーは、本学公式ホームページに掲載されています。
https://www.kanagawa-u.ac.jp/disclosure/education/policy/

Ⅱ 入試カレンダー

2025／9月　10月　11月　12月　2026／1月　2月　3月　4月

総合型選抜（総合評価型）	出願期間 9/12～9/19；試験日 10/12；合格発表 11/1；一次手続 11/1～11/11；二次手続※2 11/1～1/27（手続書類提出 1/6～1/27）
総合型選抜（適性検査型）	出願期間 10/24～10/30；試験日 11/16；合格発表 11/25；一次手続 11/25～12/11；二次手続※2 11/25～1/27（手続書類提出 1/6～1/27）
公募制推薦入試 英語英文学科GECプログラム 女子特別（工学部）	出願期間 9/24～10/1；試験日 10/19；合格発表 11/1；一次手続 11/1～11/11；二次手続※2 11/1～1/27（手続書類提出 1/6～1/27）
公募制推薦入試 中国語学科	出願期間 9/12～9/19；試験日 10/12；合格発表 11/1；一次手続 11/1～11/11；二次手続※2 11/1～1/27（手続書類提出 1/6～1/27）
スポーツ・音楽推薦入試（公募制）［第Ⅰ期］	出願期間 10/1～10/8；第一次選考 ※1；第一次合格発表 11/20；第二次選考 11/30または12/1※1；合格発表 12/4；一次手続 12/4～12/11；二次手続※2 12/4～1/27（手続書類提出 1/6～1/27）
スポーツ・音楽推薦入試（公募制）［第Ⅱ期］	出願期間 1/16～1/23；第一次選考 書類審査；第一次合格発表 2/20；第二次選考 3/4；合格発表 3/12；入学手続(一括手続) 3/12～3/18
指定校制推薦入試	出願期間 11/1～11/7；試験日 11/30；合格発表 12/4；一次手続 12/4～12/11；二次手続※2 12/4～1/27（手続書類提出 1/6～1/27）
卒業生子弟・子女入試	出願期間 9/12～9/19；試験日 10/12；合格発表 11/1；一次手続 11/1～11/11；二次手続※2 11/1～1/27（手続書類提出 1/6～1/27）
外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）入試	出願期間 9/24～10/1；試験日 10/19；合格発表 11/1；一次手続 11/1～11/11；二次手続※2 11/1～1/27（手続書類提出 1/6～1/27）
社会人入試	出願期間 9/24～10/1；試験日 10/19；合格発表 11/1；一次手続 11/1～11/11；二次手続※2 11/1～1/27（手続書類提出 1/6～1/27）
外国人留学生入試	出願期間(郵送) 11/26～11/28；出願期間(窓口) 12/1～12/4；試験日 1/25；合格発表 1/30；一次手続 1/30～2/13；二次手続※2 1/30～2/26
編入学試験	出願期間 9/24～10/1；試験日 10/19；合格発表 11/1；一次手続 11/1～11/11；二次手続※2 11/1～1/27（手続書類提出 1/6～1/27）
給費生試験	出願期間 11/26～12/4；試験日 12/21；合格発表 1/12；一次手続 1/12～1/27；二次手続※2 1/12～3/6
大学入学共通テスト利用入試（前期）	出願期間 1/7～1/16；合格発表 2/14；一次手続 2/14～2/24；二次手続※2 2/14～3/6
大学入学共通テスト利用入試（後期）	出願期間 2/13～2/20；合格発表 3/12；入学手続(一括手続) 3/12～3/18
一般入試（前期）	出願期間 1/7～1/20 ※2/4のみ 1/7～1/16；試験日 2/4･6･7･8；合格発表 2/18；一次手続 2/18～2/26；二次手続※2 2/18～3/6
一般入試（後期）	出願期間 2/13～2/20；試験日 3/4；合格発表 3/12；入学手続(一括手続) 3/12～3/18

※1　各団体によって試験日・時間が異なります。詳細は、入学試験要項を参照してください。
※2　学費は一括、分納が選択可能です。学費の納入は一次手続期間内に入学金とともに納入することも可能です。

Ⅲ 入学検定料

	入試種別	入学検定料
総合型選抜	総合型選抜（総合評価型）	35,000円
	総合型選抜（適性検査型）	
	公募制推薦入試	
給費生試験	給費生試験	35,000円
一般選抜	一般入試	35,000円
	大学入学共通テスト利用入試	15,000円
その他の入試	その他の入試	35,000円

※ 入学検定料のほか、一律1,100円のサービス利用料がかかります。なお、支払方法や合計金額によるサービス利用料の違いはありません。
※ 大規模災害により罹災された地域（災害救助法が適用された市町村）に受験生または保証人が居住し罹災した場合に入学検定料の免除をしています。
詳細は大学公式ホームページを確認してください。

併願チャレンジ割

2併願目無料制度（同一日程併願） NEW

『総合型選抜（適性検査型）〈11/16〉』、『一般入試（前期）【全学統一型】〈2/4〉』、『大学入学共通テスト利用入試（前期・後期）』において、**“2併願目が無料”**、3併願目からは下記の通り割引となる新しい割引制度を導入します。

入試種別	単　願	2併願目	3併願目以降
総合型選抜(適性検査型)〈11/16〉	35,000円	0円	＋20,000円
一般入試(前期)【全学統一型】〈2/4〉			
大学入学共通テスト利用入試(前期・後期)	15,000円	0円	＋10,000円

別日程併願

『一般入試（前期）〈2/4・6・7・8〉』で、複数日程を出願する場合は、単願35,000円、2併願目からは20,000円（15,000円割引）となります。

入試種別	単　願	2併願目	3併願目	4併願目
たとえば・・・	2/4を出願	＋2/6を出願	＋2/7を出願	＋2/8を出願
一般入試（前期）	35,000円	＋20,000円	＋20,000円	＋20,000円
	合計　95,000円			

※ 一般入試（前期）【全学統一型】〈2/4〉の2併願目無料制度との併用可。
※ 2回以上に分けて出願登録した場合は単願扱いとなり、併願チャレンジ割適用外となります。
※ 給費生試験・一般入試（後期）に、併願受験はありません。

共通テスト利用入試併願

『大学入学共通テスト利用入試（前期・後期）』では複数の学部・学科の併願が可能です。
『大学入学共通テスト利用入試（前期・後期）』は単願15,000円、2併願目は無料、3併願目からは10,000円（5,000円割引）となります。

入試種別		単　願	2併願目	3併願目	4併願目
大学入学共通テスト利用入試	前期	15,000円	0円	＋10,000円	＋10,000円
		合計　35,000円			
	後期	15,000円	0円	＋10,000円	＋10,000円
		合計　35,000円			

※ 2回以上に分けて出願登録した場合は単願扱いとなり、併願チャレンジ割適用外となります。
※ 大学入学共通テスト利用入試（前期）と大学入学共通テスト利用入試（後期）での併願のように入試制度を超えての併願割引は適用されません。

Ⅳ 出願方法

総合型選抜

- 総合型選抜（総合評価型）
- 総合型選抜（適性検査型）
- 公募制推薦入試

給費生試験

- 給費生試験

その他の入試

- 卒業生子弟・子女入試
- 社会人入試
- 編入学試験
- 外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）入試
- 外国人留学生入試
- 編入学試験（英語検定有資格者）
- 社会人編入学試験

1. 大学公式ホームページへ　入学試験要項を確認
2. 大学公式ホームページから出願に必要な書類をプリンターで印刷・手書きで作成
3. インターネット出願サイトより「マイページ」登録する
4. 出願情報をWEBで入力　インターネット出願
5. 入学検定料を納入*1　コンビニ　クレジット　Pay-easy（ペイジー）　ネットバンキング
6. インターネット出願サイトから必要書類（志願票など）をプリンターで印刷
7. 出願書類を郵便局の窓口から送付*2　簡易書留・速達

一般選抜

- 大学入学共通テスト利用入試
- 一般入試

1. 大学公式ホームページへ　入学試験要項を確認
2. インターネット出願サイトより「マイページ」登録する
3. 出願情報をWEBで入力　インターネット出願
4. 入学検定料を納入*1　コンビニ　クレジット　Pay-easy（ペイジー）　ネットバンキング
5. インターネット出願サイトから必要書類（志願票など）をプリンターで印刷
6. 出願書類を郵便局の窓口から送付　簡易書留・速達

＊1　海外からの送金は出来ません。クレジットカード等を利用してください。
＊2　外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）入試および外国人留学生入試は出願書類の提出方法が異なります。詳細は、それぞれの「入学試験要項」をご確認ください。

V 編入学試験

既に大学や短期大学、専修学校専門課程などで学び、明確な目的意識のもとに学修を継続する意志を持つ学生に、編入学によって大学教育を受ける機会を保障しようとする入試制度です。

入　試　日　程

学部・学科等	出願期間	試験日・試験場	合格発表日	入学手続期間※2
※1	［インターネット出願･郵送受付］ 9月24日(水) 午前9時 ～10月1日(水)(消印有効)	10月19日(日) 横浜キャンパス	11月1日(土) 午後1時	【入学手続金】 〔第一次〕(入学金の納入) 11月1日(土)～11月11日(火) 〔第二次〕(学費等の納入) 11月1日(土)～1月27日(火) 【入学手続書類】(提出期間) 1月6日(火)～1月27日(火)(消印有効)

※１「募集学部・学科・年次・募集人員」を確認してください。
※２　納入金は〔第一次〕手続期間内に一括で納入することが可能です。

募集学部・学科・年次・募集人員

- **３年次への出願者は、単位修得状況および選考結果により、２年次に合格させることがあります。ただし、２年次の募集がない学科等においては、この制度を適用しません（合格は３年次のみ）。**

［注意］（1）経済学科（経済分析専攻）３年次への出願者が選考結果により、２年次での合格となる場合は、経済学科（経済データ分析専攻）となります。
（2）工学部３年次への出願者は、分野横断教育プログラムを履修できません。履修を希望する場合は、２年次に出願してください。

学部	学科等	募集人員	募集年次 2年次	募集年次 3年次
法学部	法律学科／自治行政学科	若干名	○	○
経済学部	経済学科(現代経済専攻)／現代ビジネス学科		○	○
	経済学科(経済データ分析専攻)		○	／
	経済学科(経済分析専攻)		／	○
経営学部	国際経営学科		○	○
外国語学部	英語英文学科(ＩＥＳプログラム)／スペイン語学科／中国語学科		○	○
	英語英文学科(ＧＥＣプログラム)		×	○
国際日本学部	国際文化交流学科※／日本文化学科／歴史民俗学科 ※国際文化交流学科3年次への出願は、履修条件あり(P.6［注意］参照)。		○	○
人間科学部	人間科学科		○	○
理学部	理学科(数学コース／物理コース／化学コース／生物コース／地球環境科学コース／総合理学コース)		○	○
工学部	機械工学科／電気電子情報工学科／経営工学科／応用物理学科		○	○
建築学部	建築学科(建築学系)／建築学科(都市生活学系)		○	○
化学生命学部	応用化学科／生命機能学科		○	○
情報学部	計算機科学科／システム数理学科		○	○
	先端情報領域プログラム		○	×

出願資格

【出願資格（外国語学部英語英文学科（GECプログラム）（３年次）を除く）】
次の 1 ～ 10 のいずれかを満たす者。なお、試験に合格し入学手続を完了しても、最終的に出願資格を満たしていない者は、入学を取り消します。

1　日本の大学（通信教育課程を含む）を卒業した者または2026年３月卒業見込みの者。

2　学校教育法第104条第７項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者または2026年３月までに授与される見込みの者。

出願資格

3 日本の短期大学（通信教育課程を含む）を卒業した者または2026年３月卒業見込みの者。

4 日本の高等専門学校を卒業した者または2026年３月卒業見込みの者。

5 日本の大学（通信教育課程を含む）に２年以上在学し（見込みも含む）、教職課程等の資格科目を除き、62単位以上取得した者または2026年３月までに取得見込みの者。

6 日本の専修学校の専門課程（修業年限が２年以上で、かつ、課程の卒業に必要な総授業時間数が1,700時間以上のものに限る）を卒業した者または2026年３月までに卒業見込みの者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）。

7 日本の大学（通信教育課程を含む）に１年以上在学し（見込みも含む）、教職課程等の資格科目を除き、31単位以上取得した者または2026年３月までに取得見込みの者（２年次への出願に限る）。

8 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者または2026年３月までに修了見込みの者。この課程には、我が国における、外国の大学または短期大学相当として指定された外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校または同短期大学相当）を含む。

＊出願資格 8 によって出願する外国人留学生の場合は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験または公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験（Ｎ１レベル）を受験していなければならない。なお、日本留学試験を受験した者は「日本語」科目の成績が250点以上であること、日本語能力試験（Ｎ１レベル）を受験した者は合格していることが望ましい。

（出願資格 8 によって出願する場合は、事前に出願資格の確認を行います。出願に際し、必ず本学入試センターまでお問い合わせください。）

9 日本の高等学校の専攻科（文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）を修了した者または2026年３月までに修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）。

（出願資格 9 によって出願する場合は、事前に出願資格の確認を行います。出願に際し、必ず本学入試センターまでお問い合わせください。）

10 その他、本学において上記 1 ～ 9 と同等以上の資格を有すると認めた者。

（出願資格 10 によって出願する場合は、事前に個別の入学資格審査を行います。出願に際し、「神奈川大学入学資格審査要項」に記載の期日までに本学入試センターまでお問い合わせください。）

［注意］（1）国際日本学部国際文化交流学科の３年次への出願は、当該学科入門科目※（「文化交流入門」「観光文化入門」「ことば学入門」「国際日本学入門」）に相当する科目を２科目以上修得済み、もしくは履修中であること（２年次への出願は当該条件を満たさない場合でも可）。
※当該学科入門科目の詳細は、**こちら**をご参照ください。
（2）理学部・工学部の３年次への出願は、上記に該当する理工系の大学・学部・短期大学・高等専門学校および専修学校の出身者に限ります。
（3）本学在学中の者（卒業見込みの者を除く）は、出願できません。

【出願資格（外国語学部英語英文学科（GECプログラム）（３年次））】

次の［出願資格Ⅰ］の 1 2 3 のいずれか1つを満たし、さらに［出願資格Ⅱ］の(a)(b)のいずれかを満たす者。

［出願資格Ⅰ］

1 外国において外国の教育制度に基づく大学を卒業した者または2026年３月までに卒業見込みの者。

2 外国において外国の教育制度に基づく短期大学を卒業した者または2026年３月までに卒業見込みの者。

3 外国において外国の教育制度に基づく大学において２年以上の課程を修了した者または2026年３月までに修了予定の者。

出願資格

［出願資格Ⅱ］

（a）［出願資格Ⅰ］1 ～ 3 の教育機関において、指導言語が英語であり、出願書類においてそのことが確認できること。

（b）［出願資格Ⅰ］1 ～ 3 の教育機関において、指導言語が英語でない場合、あるいは英語であることが出願書類で確認できない場合は、以下にあげる①～⑧の各種英語外部試験のいずれかにおいて評価（級、点数など）が以下に示す基準以上であること。ただし、当該資格を取得した時期は、出願時点において、当該資格取得後２年以内とする（各試験において異なる実施回のスコアを組み合わせての出願はできません）。

①実用英語技能検定 ※英検S-CBTも可とします。	準1級　CSEスコア2304点
②TOEIC® Listening & Reading Test	785点
＋TOEIC® Speaking & Writing Tests	310点
※IPのスコアは出願には利用できません。	合計　1095点
③TOEFL iBT®	72点
④IELTS ※アカデミック・モジュールに限ります。	5.5
⑤Cambridge English	B2 First または B2 First for Schools（160点）
⑥GTEC検定版・CBTタイプ ※アセスメント版は不可とします。	1180点
⑦TEAP	309点
⑧TEAP CBT	600点

＊この出願資格によって出願する外国人留学生の場合は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験または公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験（N１レベル）を受験していなければならない。なお、日本留学試験を受験した者は「日本語」科目の成績が250点以上であること、日本語能力試験（N１レベル）を受験した者は合格していることが望ましい。

出願書類

※の出願書類は、本学公式ホームページよりダウンロードし、プリンターで印刷してください。

1　志願票　２部

①　志願票（A）（本学所定用紙※）
②　志願票（入学検定料納入後、インターネット出願サイトより出力）

2　志望理由書（本学所定用紙※）

3　卒業（見込）証明書、成績証明書等

①　大学在学中の者（卒業見込みの者を除く）
　a　在学証明書（または在籍期間証明書）
　b　履修証明書または単位修得見込証明書（現年次で履修中の科目・単位が明記されているもの）
　c　成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

②　大学を退学した者
　a　在籍期間証明書
　b　成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

③　大学、短期大学および高等専門学校を卒業した者または卒業見込みの者
　a　卒業証明書または卒業見込証明書
　b　履修証明書または単位修得見込証明書（卒業見込みの者に限る）
　　（現年次で履修中の科目・単位が明記されているもの）
　c　成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

出　願　書　類

④　専修学校の専門課程を卒業した者または卒業見込み者
　a　卒業証明書または卒業見込証明書
　b　受験資格証明書（本学所定用紙※）
　c　高等学校卒業証明書
　d　履修証明書または単位修得見込証明書（卒業見込みの者に限る）
　　（現年次で履修中の科目・単位が明記されているもの）
　e　成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

⑤　大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者または授与される見込みの者
　a　学位授与証明書または学位授与見込証明書
　b　成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

⑥　日本の高等学校の専攻科を修了した者または修了見込みの者
　a　修了証明書または修了見込証明書
　b　履修証明書または単位修得見込証明書（卒業見込みの者に限る）
　　（現年次で履修中の科目・単位が明記されているもの）
　c　成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）
　d　その他、文部科学大臣が定める基準を満たすことを証明する書類

履修証明書または単位修得見込証明書において、履修登録期間等の事情により証明書が発行されず、出願期間に提出できない場合には、単位が明記された履修予定科目（シラバス・履修要覧・時間割等）を確認できる書類を必ず提出してください。

4　その他の証明書

①　外国籍で日本在住の者は、**住民票の写し（原本）（「国籍」、「在留の資格」、「在留期間」、および「在留カード番号」が記載されているもの）**

②　出願資格 8 によって出願する外国人留学生は、**日本留学試験を受験した者は成績通知書または成績証明書、日本語能力試験（N１レベル）を受験した者は日本語能力試験（N１レベル）合否結果通知書**
　＊外国語学部英語英文学科（GEC プログラム）（３年次）に出願する外国人留学生を含む。

③　外国語学部英語英文学科（GEC プログラム）（３年次）に出願する者は、出願資格に該当する教育機関の学校案内（パンフレット（コピー可）または公式ホームページをプリントアウトしたもの等）

④　外国語学部英語英文学科（GEC プログラム）（３年次）に出願する者は、該当資格を有すると証明できる書類または英語外部試験評価証明書（コピー不可）
　＊証明書は原本を提出してください。万が一原本を提出できない際は、写しを大学や専門学校等にて原本証明（証明者の署名・押印）したものをお送りください。

⑤　国際日本学部国際文化交流学科の３年次を出願する者は、履修済もしくは履修中の科目のうち、学科入門科目（「文化交流入門」「観光文化入門」「ことば学入門」「国際日本学入門」）に相当する科目（２つ以上）のシラバス（コピー可）

⑥　現在の氏名と提出する書類の氏名が異なる場合は、**戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）**を提出してください。

［注意］（1）各種証明書類は、原則として出願以前３か月以内に発行されたものに限ります。
　ただし、出願書類 3 における「卒業証明書」・「成績証明書」等については、既卒者・大学を退学した者に限り、2025年４月１日以降に発行したものとする。
（2）休学中の者で、最新の成績等が発行されない場合は、休学が確認できる書類等を提出することが望ましい。
（3）出願手続後の書類の変更は認められません。
（4）提出書類が日本語または英語以外の場合は、日本語訳を必ず添付してください。
　（様式任意。ただし、翻訳者の署名を必ずつけること。本人翻訳可。）

試験時間	集合時間　午前 9 時 10 分 学力試験　午前 9 時 30 分 ～ 面接試験　午後 1 時 30 分 ～
選考方法	学力試験および面接試験の総合評価により判定します。 **３年次への出願者は、単位修得状況および選考結果により、２年次に合格させることがあります。ただし、２年次の募集がない学科等においては、この制度を適用しません（合格は３年次のみ）。**

試験科目・配点

学部・学科等・年次			試験科目	試験時間	配点	総点(満点)
法学部	法律学科 自治行政学科	２年次	「憲法」に関する基本的な知識についての択一式による試験	120分	100点	200点
			「民法」に関する基本的な知識についての択一式による試験		100点	
		３年次	「憲法」に関する基本的な知識についての択一式による試験	120分	100点	300点
			「民法」に関する基本的な知識についての択一式による試験		100点	
			「刑法」に関する基本的な知識についての択一式による試験 / 「会社法」に関する基本的な知識についての択一式による試験（出願時に1科目選択）		100点	
経済学部	経済学科（現代経済専攻） 現代ビジネス学科	２年次	英語（ただし、出願資格 8 によって出願する外国人留学生は「日本語」）	120分	100点	200点
			「経済基礎」		100点	
	経済学科（経済データ分析専攻）	２年次	英語（ただし、出願資格 8 によって出願する外国人留学生は「日本語」）	120分	100点	200点
			「経済基礎」「数学」		100点	
	経済学科（現代経済専攻） 経済学科（経済分析専攻）	３年次	英語（ただし、出願資格 8 によって出願する外国人留学生は「日本語」）	120分	100点	200点
			「経済基礎」「数学」「近代経済学」		100点	
	現代ビジネス学科	３年次	英語（ただし、出願資格 8 によって出願する外国人留学生は「日本語」）	120分	100点	200点
			「流通・マーケティング」「経営学」		100点	
経営学部	国際経営学科	２年次 ３年次	英語（ただし、出願資格 8 によって出願する外国人留学生は「日本語」）	120分	100点	200点
			小論文（経営等に関する基本的な知識を問うもの）		100点	
外国語学部	英語英文学科 （ＩＥＳプログラム）	２年次 ３年次	英語	120分	100点	200点
			小論文		100点	
	英語英文学科 （ＧＥＣプログラム）	３年次	英語	120分	100点	200点
			小論文		100点	
	スペイン語学科	２年次 ３年次	スペイン語	120分	100点	200点
			小論文（日本語による）		100点	
	中国語学科	２年次 ３年次	中国語	120分	100点	200点
			小論文（日本語による）		100点	
国際日本学部	国際文化交流学科	２年次 ３年次	英語	120分	100点	200点
			小論文（日本語による）		100点	
	日本文化学科	２年次 ３年次	国語（小論文を含む）	120分	200点	200点
	歴史民俗学科	２年次 ３年次	小論文（日本語による）	120分	100点	100点
人間科学部	人間科学科	２年次 ３年次	英語（ただし、出願資格 8 によって出願する外国人留学生は「日本語」）	120分	100点	200点
			小論文（日本語による）		100点	
理学部	理学科（数学コース）	２年次 ３年次	数学	90分	100点	100点
	理学科（物理コース）	２年次 ３年次	数学	120分	100点	200点
			物理学		100点	
	理学科（化学コース）	２年次 ３年次	数学	120分	100点	200点
			化学		100点	
	理学科（生物コース）	２年次 ３年次	数学	120分	100点	200点
			生物学		100点	

学部・学科等・年次			試験科目		試験時間	配点	総点（満点）
理学部	理学科（地球環境科学コース）	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			物理学	出願時に1科目選択		100点	
			化学			100点	
			生物学			100点	
	理学科（総合理学コース）	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			物理学	出願時に1科目選択		100点	
			化学			100点	
			生物学			100点	
工学部	機械工学科	2年次	数学		120分	100点	200点
			物理（力学）			100点	
		3年次	数学		120分	100点	200点
			工業力学および材料力学			100点	
	電気電子情報工学科	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			電気理論			100点	
	経営工学科	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			経営工学			100点	
	応用物理学科	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			物理			100点	
建築学部	建築学科（建築学系）	2年次	小論文		120分	100点	200点
			建築学一般（環境・構造・デザイン分野の基本的な問題）			100点	
	建築学科（建築学系）構造コース	3年次	小論文		120分	100点	200点
			建築学一般（構造分野の基本的な問題）			100点	
	建築学科（建築学系）環境コース	3年次	小論文		120分	100点	200点
			建築学一般（環境分野の基本的な問題）			100点	
	建築学科（建築学系）デザインコース	3年次	小論文		120分	100点	200点
			建築学一般（デザイン分野の基本的な問題）			100点	
	建築学科（都市生活学系）	2年次	小論文		120分	100点	200点
			建築学一般（環境・構造・デザイン分野の基本的な問題）			100点	
	建築学科（都市生活学系）デザインコース	3年次	小論文		120分	100点	200点
			建築学一般（デザイン分野の基本的な問題）			100点	
	建築学科（都市生活学系）住生活創造コース	3年次	小論文		120分	100点	200点
			建築学一般（住生活創造分野の基本的な問題）			100点	
	建築学科（都市生活学系）まち再生コース	3年次	小論文		120分	100点	200点
			建築学一般（まち再生分野の基本的な問題）			100点	
化学生命学部	応用化学科	2年次 3年次	専門基礎問題（小論文含む）		90分	100点	100点
	生命機能学科	2年次 3年次	専門基礎問題（小論文含む）		90分	100点	100点
情報学部	計算機科学科	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			情報学			100点	
	システム数理学科	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			情報学			100点	
	先端情報領域プログラム	2年次	数学		120分	100点	200点
			情報学			100点	

受験上の注意 その他

1．受験上の注意は、P.20～21を必ず確認してください。

2．入学後の修学キャンパスについて

【横浜キャンパス】 法学部・経済学部・人間科学部・理学部・工学部・建築学部・化学生命学部・情報学部

【みなとみらいキャンパス】 経営学部・外国語学部・国際日本学部

Ⅵ 編入学試験　英語検定有資格者

既に大学や短期大学、専修学校専門課程などで学び、高い英語力を修得し、また、明確な目的意識のもとに学修を継続する意志を持つ者に、本制度によって筆記試験を免除し、書類審査と面接によって選考を行う編入学試験制度です。

入　試　日　程

学部・学科等	出願期間	試験日・試験場	合格発表日	入学手続期間※2
※1	［インターネット出願･郵送受付］ 9月24日(水) 午前9時 ～10月1日(水)(消印有効)	10月19日(日) 横浜キャンパス	11月1日(土) 午後1時	【入学手続金】 〔第一次〕(入学金の納入) 11月1日(土)～11月11日(火) 〔第二次〕(学費等の納入) 11月1日(土)～1月27日(火) 【入学手続書類】(提出期間) 1月6日(火)～1月27日(火)(消印有効)

※１「募集学部・学科・年次・募集人員」を確認してください。
※２　納入金は〔第一次〕手続期間内に一括で納入することが可能です。

募集学部・学科・年次・募集人員

●３年次への出願者は、単位修得状況および選考結果により、２年次に合格させることがあります。

【２年次】

学　　部	学　科　等	募集人員
外国語学部	英　語　英　文　学　科 （ＩＥＳプログラム）	若干名

【３年次】

学　　部	学　科　等	募集人員
外国語学部	英　語　英　文　学　科 （ＩＥＳプログラム）	若干名

出　願　資　格

次の英語資格①～⑧のいずれかを有し、かつその他出願資格 1 ～ 10 のいずれかを満たす者。なお、試験に合格し入学手続を完了しても、最終的に出願資格を満たしていない者は、入学を取り消します。

【英語資格】

下記にあげる各種の英語検定試験のいずれかにおいて、評価（級、点数など）が以下に示す基準以上である者。ただし、当該資格を取得した時期は、出願時点において、当該資格取得後２年以内とする（各外部試験において異なる実施回のスコアを組み合わせての出願はできません）。

①実用英語技能検定 ※英検S-CBTも可とします。	準1級　CSEスコア2304点
②TOEIC® Listening & Reading Test ＋TOEIC® Speaking & Writing Tests ※IPのスコアは出願には利用できません。	合計1095点
③TOEFL iBT®	72点
④IELTS ※アカデミック・モジュールに限ります。	5.5
⑤Cambridge English	B2 First または B2 First for Schools (160点)
⑥GTEC検定版・CBTタイプ ※アセスメント版は不可とします。	1180点
⑦TEAP	309点
⑧TEAP CBT	600点

出願資格

【その他出願資格】

1 日本の大学（通信教育課程を含む）を卒業した者または2026年３月卒業見込みの者。

2 学校教育法第104条第７項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者または2026年３月までに授与される見込みの者。

3 日本の短期大学（通信教育課程を含む）を卒業した者または2026年３月卒業見込みの者。

4 日本の高等専門学校を卒業した者または2026年３月卒業見込みの者。

5 日本の大学（通信教育課程を含む）に２年以上在学し（見込みも含む）、教職課程等の資格科目を除き、62単位以上取得した者または2026年３月までに取得見込みの者。

6 日本の専修学校の専門課程（修業年限が２年以上で、かつ、課程の卒業に必要な総授業時間数が1,700時間以上のものに限る）を卒業した者または2026年３月までに卒業見込みの者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）。

7 日本の大学（通信教育課程を含む）に１年以上在学し（見込みも含む）、教職課程等の資格科目を除き、31単位以上取得した者または2026年３月までに取得見込みの者（２年次への出願に限る）。

8 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者または2026年３月までに修了見込みの者。この課程には、我が国における、外国の大学または短期大学相当として指定された外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校または同短期大学相当）を含む。

＊出願資格 8 によって出願する外国人留学生の場合は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験または公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験（Ｎ１レベル）を受験していなければならない。なお、日本留学試験を受験した者は「日本語」科目の成績が250点以上であること、日本語能力試験（Ｎ１レベル）を受験した者は合格していることが望ましい。

（出願資格 8 によって出願する場合は、事前に出願資格の確認を行います。出願に際し、必ず本学入試センターまでお問い合わせください。）

9 日本の高等学校の専攻科（文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）を修了した者または2026年３月までに修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）。

（出願資格 9 によって出願する場合は、事前に出願資格の確認を行います。出願に際し、必ず本学入試センターまでお問い合わせください。）

10 その他、本学において上記 1 ～ 9 と同等以上の資格を有すると認めた者。

（出願資格 10 によって出願する場合は、事前に個別の入学資格審査を行います。出願に際し、「神奈川大学入学資格審査要項」に記載の期日までに本学入試センターまでお問い合わせください。）

［注意］（1）本学在学中の者（卒業見込みの者を除く）は、出願できません。

出願書類

※の出願書類は、本学公式ホームページよりダウンロードし、プリンターで印刷してください。

1 志願票　２部

① 志願票（A）（本学所定用紙※）
② 志願票（入学検定料納入後、インターネット出願サイトより出力）

2 志望理由書（本学所定用紙※）

出願書類

3 卒業（見込）証明書、成績証明書等

① 大学在学中の者（卒業見込み者を除く）
- a 在学証明書（または在籍期間証明書）
- b 履修証明書または単位修得見込証明書（現年次で履修中の科目・単位が明記されているもの）
- c 成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

② 大学を退学した者
- a 在籍期間証明書
- b 成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

③ 大学、短期大学および高等専門学校を卒業した者または卒業見込みの者
- a 卒業証明書または卒業見込証明書
- b 履修証明書または単位修得見込証明書（卒業見込みの者に限る）（現年次で履修中の科目・単位が明記されているもの）
- c 成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

④ 専修学校の専門課程を卒業した者または卒業見込みの者
- a 卒業証明書または卒業見込証明書
- b 受験資格証明書（本学所定用紙※）
- c 高等学校卒業証明書
- d 履修証明書または単位修得見込証明書（卒業見込みの者に限る）（現年次で履修中の科目・単位が明記されているもの）
- e 成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

⑤ 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者または授与される見込みの者
- a 学位授与証明書または学位授与見込証明書
- b 成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

⑥ 日本の高等学校の専攻科を修了した者または修了見込みの者
- a 修了証明書または修了見込証明書
- b 履修証明書または単位修得見込証明書（卒業見込みの者に限る）（現年次で履修中の科目・単位が明記されているもの）
- c 成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）
- d その他、文部科学大臣が定める基準を満たすことを証明する書類

履修証明書または単位修得見込証明書において、履修登録期間等の事情により証明書が発行されず、出願期間に提出できない場合には、単位が明記された履修予定科目（シラバス・履修要覧・時間割等）を確認できる書類を必ず提出してください。

4 証明書類

・英語外部試験評価証明書（コピー不可）
「実用英語技能検定合格証明書」（実用英語技能検定・英検S-CBT）
「公式認定証」（TOEIC®）
「スコア」（TOEFL®・GTEC検定版・CBTタイプ）
「成績証明書」（IELTS）
「合格証明書」（Cambridge English）
「成績表」（TEAP・TEAP CBT）

＊証明書は原本を提出してください。万が一原本を提出できない際は、写しを大学や専門学校等にて原本証明（証明書の署名・押印）したものをお送りください。

出願書類	**5** その他の証明書 ① 外国籍で日本在住の者は、**住民票の写し（原本）（「国籍」、「在留の資格」、「在留期間」、および「在留カード番号」が記載されているもの）** ② 出願資格 **8** によって出願する外国人留学生は、**日本留学試験を受験した者は成績通知書または成績証明書、日本語能力試験（N１レベル）を受験した者は日本語能力試験（N１レベル）合否結果通知書** ③ 現在の氏名と提出する書類の氏名が異なる場合は、**戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）**を提出してください。 ［注意］（1）各種証明書類は、原則として出願以前３か月以内に発行されたものに限ります。 ただし、出願書類 **3** における「卒業証明書」・「成績証明書」等については、既卒者・大学を退学した者に限り、2025年４月１日以降に発行したものとする。 （2）休学中の者で、最新の成績等が発行されない場合は、休学が確認できる書類等を提出することが望ましい。 （3）出願手続後の書類の変更は認められません。 （4）提出書類が日本語または英語以外の場合は、日本語訳を必ず添付してください。 （様式任意。ただし、翻訳者の署名を必ずつけること。本人翻訳可。）
試験時間	**集合時間　午後 １ 時 10 分** **面接試験　午後 １ 時 30 分 ～**
選考方法	書類審査および面接試験の総合評価により判定します。 **３年次への出願者は、単位修得状況および選考結果により、２年次に合格させることがあります。**
受験上の注意 その他	１．受験上の注意は、P.20～21を必ず確認してください。 ２．入学後の修学キャンパスについて **【横浜キャンパス】** 法学部・経済学部・人間科学部・理学部・工学部・建築学部・化学生命学部・情報学部 **【みなとみらいキャンパス】** 経営学部・外国語学部・国際日本学部

Ⅶ 社会人編入学試験

既に大学や短期大学、専修学校専門課程などで学び、明確な目的意識のもとに学修を継続する意志を持つ学生に、編入学によって大学教育を受ける機会を保障しようとする入試制度で、特に、勉学への熱意と能力を持つ社会人に大学の門戸を開放し、社会における多様な活動を通じて得られた経験を活かして他の学生に刺激を与えるとともに、社会では体験できなかった知的刺激を大学や他の学生から受けることによって自身の成長を促し、さらには再度社会に貢献していくことを期待するものです。

入　試　日　程

学部・学科等	出願期間	試験日・試験場	合格発表日	入学手続期間※2
※1	［インターネット出願･郵送受付］ 9月24日(水) 午前9時 ～10月1日(水)(消印有効)	10月19日(日) 横浜キャンパス	11月1日(土) 午後1時	【入学手続金】 〔第一次〕(入学金の納入) 11月1日(土)～11月11日(火) 〔第二次〕(学費等の納入) 11月1日(土)～1月27日(火) 【入学手続書類】(提出期間) 1月6日(火)～1月27日(火)(消印有効)

※１「募集学部・学科・年次・募集人員」を確認してください。
※２　納入金は〔第一次〕手続期間内に一括で納入することが可能です。

募集学部・学科・年次・募集人員

● ３年次への出願者は、単位修得状況および選考結果により、２年次に合格させることがあります。ただし、２年次の募集がない学科等においては、この制度を適用しません（合格は３年次のみ）。

［注意］（1）経済学科（経済分析専攻）３年次への出願者が選考結果により、２年次での合格となる場合は、経済学科（経済データ分析専攻）となります。
（2）工学部３年次への出願者は、分野横断教育プログラムを履修できません。履修を希望する場合は、２年次に出願してください。

学部	学科等	募集人員	募集年次 2年次	募集年次 3年次
法学部	法律学科／自治行政学科	若干名	○	○
経済学部	経済学科(現代経済専攻)／現代ビジネス学科		○	○
	経済学科(経済データ分析専攻)		○	
	経済学科(経済分析専攻)			○
経営学部	国際経営学科		○	○
外国語学部	英語英文学科(ＩＥＳプログラム)／スペイン語学科／中国語学科		○	○
	英語英文学科(ＧＥＣプログラム)		×	×
国際日本学部	国際文化交流学科／日本文化学科／歴史民俗学科		○	○
人間科学部	人間科学科		○	○
理学部	理学科(数学コース／物理コース／化学コース／生物コース／地球環境科学コース／総合理学コース)		○	○
工学部	機械工学科／電気電子情報工学科／経営工学科／応用物理学科		○	○
建築学部	建築学科(建築学系)／建築学科(都市生活学系)		○	○
化学生命学部	応用化学科／生命機能学科		○	○
情報学部	計算機科学科／システム数理学科／先端情報領域プログラム		×	×

出願資格

次の 1 ～ 8 のいずれかを満たす者で、出願時に社会人としての経験が３年以上ある者。
なお、試験に合格し入学手続を完了しても、最終的に出願資格を満たしていない者は、入学を取り消します。

1　日本の大学（通信教育課程を含む）を卒業した者または2026年３月卒業見込みの者。

2　学校教育法第104条第７項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者または2026年３月までに授与される見込みの者。

出願資格

3 日本の短期大学（通信教育課程を含む）を卒業した者または2026年３月卒業見込みの者。

4 日本の高等専門学校を卒業した者または2026年３月卒業見込みの者。

5 日本の大学（通信教育課程を含む）に２年以上在学し（見込みも含む）、教職課程等の資格科目を除き、62単位以上取得した者または2026年３月までに取得見込みの者。

6 日本の専修学校の専門課程（修業年限が２年以上で、かつ、課程の卒業に必要な総授業時間数が1,700時間以上のものに限る）を卒業した者または2026年３月までに卒業見込みの者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）。

7 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者または2026年３月までに修了見込みの者。この課程には、我が国における、外国の大学または短期大学相当として指定された外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校または同短期大学相当）を含む。

（出願資格 7 によって出願する場合は、事前に出願資格の確認を行います。出願に際し、必ず本学入試センターまでお問い合わせください。）

8 その他、本学において出願資格 **1** ～ **7** と同等以上の資格を有すると認めた者。

（出願資格 8 によって出願する場合は、事前に個別の入学資格審査を行います。出願に際し、「神奈川大学入学資格審査要項」に記載の期日までに本学入試センターまでお問い合わせください。）

［注意］（1）社会人（家事専従者を含む）としての経験は、高等学校卒業からのものを含みます。
（2）工学部の３年次への出願は、理工系の大学・学部・短期大学・高等専門学校および専修学校の出身者に限ります。
（3）本学在学中の者（卒業見込みの者を除く）は、出願できません。

出願書類

※の出願書類は、本学公式ホームページよりダウンロードし、プリンターで印刷してください。

1 志願票　２部

① 志願票（A）（本学所定用紙※）
② 志願票（入学検定料納入後、インターネット出願サイトより出力）

2 志望理由書（本学所定用紙※）

3 卒業（見込）証明書、成績証明書等

① 大学在学中の者（卒業見込みの者を除く）
- a 在学証明書（または在籍期間証明書）
- b 履修証明書または単位修得見込証明書（現年次で履修中の科目・単位が明記されているもの）
- c 成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

② 大学を退学した者
- a 在籍期間証明書
- b 成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

③ 大学、短期大学および高等専門学校を卒業した者または卒業見込みの者
- a 卒業証明書または卒業見込証明書
- b 履修証明書または単位修得見込証明書（卒業見込みの者に限る）（現年次で履修中の科目・単位が明記されているもの）
- c 成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

出願書類

④　専修学校の専門課程を卒業した者または卒業見込みの者
- a　卒業証明書または卒業見込証明書
- b　受験資格証明書（本学所定用紙※）
- c　高等学校卒業証明書
- d　履修証明書または単位修得見込証明書（卒業見込みの者に限る）
  （現年次で履修中の科目・単位が明記されているもの）
- e　成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

⑤　大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者または授与される見込みの者
- a　学位授与証明書または学位授与見込証明書
- b　成績証明書（履修済の科目・単位が明記されているもの）

履修証明書または単位修得見込証明書において、履修登録期間等の事情により証明書が発行されず、出願期間に提出できない場合には、単位が明記された履修予定科目（シラバス・履修要覧・時間割等）を確認できる書類を必ず提出してください。

4　在職証明書（本学所定用紙※）またはそれに準ずる証明書（例：源泉徴収票、納税証明書なども可）
社会人経験が３年以上であることを証明できるもの（複数になってもかまいません）

5　その他の証明書

①　外国籍の人は、**住民票の写し（原本）（「国籍」、「在留の資格」、「在留期間」、および「在留カード番号」が記載されているもの）**を提出してください。

②　現在の氏名と提出する書類の氏名が異なる場合は、**戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）**を提出してください。

［注意］（1）各種証明書類は、原則として出願以前３か月以内に発行されたものに限ります。
ただし、出願書類 **3** における「卒業証明書」・「成績証明書」等については、既卒者および大学を退学した者に限り、2025年４月１日以降に発行したものとする。
（2）休学中の者で、最新の成績等が発行されない場合は、休学が確認できる書類等を提出することが望ましい。
（3）出願手続後の書類の変更は認められません。
（4）提出書類が日本語または英語以外の場合は、日本語訳を必ず添付してください。
（様式任意。ただし、翻訳者の署名を必ずつけること。本人翻訳可。）

試験時間

集合時間　　午前　9 時 10 分
学力試験　　午前　9 時 30 分 ～
面接試験　　午後　1 時 30 分 ～

選考方法

学力試験および面接試験の総合評価により判定します。
３年次への出願者は、単位修得状況および選考結果により、２年次に合格させることがあります。ただし、２年次の募集がない学科等においては、この制度を適用しません（合格は３年次のみ）。

試験科目・配点

学部・学科等・年次			試験科目	試験時間	配点	総点（満点）
法学部	法律学科	２年次 ３年次	小論文	90分	100点	100点
	自治行政学科					
経済学部	経済学科（現代経済専攻） 現代ビジネス学科	２年次 ３年次	小論文	90分	100点	100点
	経済学科（経済データ分析専攻）	２年次	小論文	90分	100点	100点
	経済学科（経済分析専攻）	３年次	小論文	90分	100点	100点
経営学部	国際経営学科	２年次 ３年次	小論文	90分	100点	100点

学部・学科等・年次			試験科目		試験時間	配点	総点（満点）
外国語学部	英語英文学科（ＩＥＳプログラム）	2年次 3年次	小論文		90分	100点	100点
	スペイン語学科	2年次 3年次	小論文		90分	100点	100点
	中国語学科	2年次 3年次	小論文		90分	100点	100点
国際日本学部	国際文化交流学科	2年次 3年次	小論文		90分	100点	100点
	日本文化学科	2年次 3年次	小論文		90分	100点	100点
	歴史民俗学科	2年次 3年次	小論文		90分	100点	100点
人間科学部	人間科学科	2年次 3年次	小論文		90分	100点	100点
理学部	理学科（数学コース）	2年次 3年次	数学		90分	100点	100点
	理学科（物理コース）	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			物理学			100点	
	理学科（化学コース）	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			化学			100点	
	理学科（生物コース）	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			生物学			100点	
	理学科（地球環境科学コース）	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			物理学	出願時に1科目選択		100点	
			化学			100点	
			生物学			100点	
	理学科（総合理学コース）	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			物理学	出願時に1科目選択		100点	
			化学			100点	
			生物学			100点	
工学部	機械工学科	2年次	数学		120分	100点	200点
			物理（力学）			100点	
		3年次	数学		120分	100点	200点
			工業力学および材料力学			100点	
	電気電子情報工学科	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			電気理論			100点	
	経営工学科	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			経営工学			100点	
	応用物理学科	2年次 3年次	数学		120分	100点	200点
			物理			100点	
建築学部	建築学科（建築学系）	2年次	専門基礎問題		90分	100点	100点
	建築学科（建築学系）構造コース／環境コース／デザインコース	3年次	専門基礎問題		90分	100点	100点
	建築学科（都市生活学系）	2年次	小論文		90分	100点	100点
	建築学科（都市生活学系）デザインコース	3年次	専門基礎問題		90分	100点	100点
	建築学科（都市生活学系）住生活創造コース／まち再生コース	3年次	小論文		90分	100点	100点
化学生命学部	応用化学科	2年次 3年次	専門基礎問題（小論文含む）		90分	100点	100点
	生命機能学科	2年次 3年次	専門基礎問題（小論文含む）		90分	100点	100点

受験上の注意 その他

1．受験上の注意は、P.20～21を必ず確認してください。

2．入学後の修学キャンパスについて

【横浜キャンパス】 法学部・経済学部・人間科学部・理学部・工学部・建築学部・化学生命学部・情報学部

【みなとみらいキャンパス】 経営学部・外国語学部・国際日本学部

Ⅷ 2025年度 編入学者の卒業要件単位数と認定単位数（参考）

編入学者の単位認定は、「一括認定」方式により行います。これは、編入学以前に修得した単位を、各学科で予め定めた認定基準により科目群ごとに一定単位を一括で認定する方式です。また、一部の学科では一括認定において一部科目を指定する場合や既修得単位を科目ごと個別に認定する場合があります。
認定単位数は、編入学者が入学以前に在籍していた学校の種別（大学・短大・高等専門学校・専修学校）や専攻分野（学部・学科・修得科目）が編入学した学科と同系統であるか異系統であるか等の区分に応じて上限が定められています（この上限は最大値ですので認定の結果これを下回る場合もあります。また、既修得単位数が認定単位数上限を下回る場合は、既修得単位数が認定上限となります）。また、各科目群の認定単位数は、概ねどの学科も入学後に専門の分野を重点的に履修するように、「専門科目」より「教養系科目」の方が多くなっています。
入学年度・入学年次により認定基準が異なる場合や変更となる場合がありますので、実績として以下に2025年度編入学者適用カリキュラムにおける認定単位数上限と、各学部学科を卒業するために必要な単位数（卒業要件単位数）を示します。各学部学科の卒業要件単位数から認定単位数を引いた単位が、卒業するまでの残り2年間もしくは3年間で修得しなければならない単位数となります。

※入学後の資格取得に係る内容につきましては、神奈川大学公式ホームページ各学部学科の案内をご確認ください。

学部	学科等	2年次編入			3年次編入		
		卒業要件単位数	認定単位数（上限）		卒業要件単位数	認定単位数（上限）	
			異系統等	同系統等		異系統等	同系統等
法学部	法律学科	124	36		124	66	72
	自治行政学科	124	36		124	66	72
経済学部	経済学科（現代経済専攻）	128	32	32	128	64※	64※
	経済学科（経済データ分析専攻）	128	32	32			
	経済学科（経済分析専攻）				128	64※	64※
	現代ビジネス学科	128	32	32	128	64	64
経営学部	国際経営学科	124	36	40	124	64	70
外国語学部	英語英文学科（ＩＥＳプログラム）	128	34	42	128	66	72
	英語英文学科（ＧＥＣプログラム）				128	—	—
	スペイン語学科	126	36	38	126	66	70
	中国語学科	126	30～32☆		126	64～70☆	
国際日本学部	国際文化交流学科	128	34	38	128	66	72
	日本文化学科	128	36	40	128	—	—
	歴史民俗学科	128	34	38	128	62	72
人間科学部	人間科学科	126	20	38	126	52	70
理学部	数理物理学科	128	36	44	128	64	72
	情報科学科	128	36	44	128	64	72
	化学科	128	36	44	128	64	72
	生物科学科	128	36	44	128	64	72
	理学科（数学コース）	128	—		128	—	
	理学科（物理コース）	128	—		128	—	
	理学科（化学コース）	128	—		128	66	66
	理学科（生物コース）	128	—		128	—	
	理学科（地球環境科学コース）	128	32	42	128	—	
	理学科（総合理学コース）	128	—		128	—	
工学部	機械工学科	125	46		125	70※	74※
	電気電子情報工学科	128	32	37	128	68	68
	物質生命化学科	128	30		128	70	76
	情報システム創成学科	129	37	40	129	71	79
	経営工学科	128	—		128	68※	73※
	応用物理学科	126	—		126	—	
建築学部	建築学科（建築学系）	125	個別科目認定		125	個別科目認定	
	建築学科（都市生活学系）	125	個別科目認定		125	個別科目認定	
化学生命学部	応用化学科	128	—		128	—	
	生命機能学科	128	—		128	—	
情報学部	計算機科学科	124	—		124	—	
	システム数理学科	125	—		125	—	
	先端情報領域プログラム	124	—				

・－は適用カリキュラムにおいて編入学の実績がないため、未定を示します。
・※は適用カリキュラムにおいて編入学の実績がないため未定ではあるが、参考として旧カリキュラムにおける上限値を記載しています。
・☆は出身学校の系統に関わらず、別途認定基準を定めています。
・同系統・異系統等の判断は、入学手続後に提出いただく申請書類をもとに各学科で行います。
・単位認定につきましては、各キャンパス教務課までお問い合わせください。
・編入学以前に在籍していた学校で公認心理師課程を履修していて、本学人間科学部に編入学後も引き続き公認心理師課程を希望する者は、事前に横浜キャンパス　教務課単位認定担当までご連絡ください。
・　　は、参考値です。当該所属は現在募集を停止しています。

IX 受験上の注意

持参品について

【持参品（試験時間中に使用を認めるもの）】	
□受　験　票	当日、受験票を忘れた場合は、試験実施本部で再発行手続をしてください。
□筆 記 用 具	「H、F、HB」の黒鉛筆（鉛筆キャップ含む）、またはシャープペンシル（芯とケースは不可）／プラスチック製の消しゴム／鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可） 和歌・格言等が印刷されているものは不可。
□時　　計	辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。 ※試験場内に時計はありません。また、貸出しも行いません。
□そ　の　他	眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）
【試験時間中に使用を認めないもの】	
□携帯電話等 通 信 機 器	携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等電子機器類の試験時間中の使用は認めません。アラーム設定を解除したうえで、電源を切ってカバン等にしまってください。 また、時計として使用することもできません。試験時間中に携帯電話等を手にしたり、身につけていた場合は、不正行為として扱われますので、十分に注意してください。
□電　　卓	使用できません。
□定　　規	使用できません。
□コ ン パ ス	使用できません。
□そ　の　他	試験に関わる内容がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

※昼食は持参してください。

※上履き、スリッパなど履物を持参する必要はありません。

受験票について

出願　受験票は『インターネット出願サイト』マイページメニューの「オンライン受験票」より出力してください（試験日の1週間前を目途に確認可能となります。確認可能となり次第、メールで通知します。試験日3日前までに確認できない場合は本学入試センターまでお問い合わせください）。

↓

受験票に表示されている内容を確認し、誤り等がないか確認してください。

受験　試験当日は受験票を必ず持参してください。当日忘れた場合は、試験実施本部で再発行手続をしてください。

※大学入学共通テスト利用入試では、受験票を発行しません。マイページメニューの「オンライン受験票」より受験番号が付与されていることを確認してください。

試験場への入場・遅刻について

入場　(1) 試験当日、キャンパス内に掲示する試験場案内で、自分の試験場を確認してください。

(2) 受験生は試験開始20分前までに試験場に入室し、自分の着席カード（受験番号のカード）が貼られている席に着席してください。

遅刻　(1) 試験開始後30分を過ぎた場合は原則として受験を認めません。

(2) 公共交通機関の乱れや遅れが生じ、遅刻しそうな時は、試験実施本部（045-481-5661）まで連絡してください。

試験時間中について

(1) 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。従わない場合は退出させることがあります。

(2) 受験票は、机上の着席カード（受験番号のカード）の手前に置いてください（受験票の注意事項をよく読んでください）。

(3) 試験に関係のないものはカバン等にしまい、自分の座席の下に置いてください。

(4) 試験開始後、監督者が写真照合のために巡回します。マスクを着用していて、照合が困難な場合は一時的にマスクをずらすよう指示することがあります。

（5）試験時間中に具合が悪くなった場合や、それ以外で用事のあるときは、静かに手をあげて監督者に知らせてください。
（6）解答用紙が無記名だった場合、不正行為があった場合は、合否判定の対象とはなりません。

不正行為について

（1）次のことをすると不正行為となります。指示等に従わず不正行為と認定された場合、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目の成績は無効となります。なお、その場合、入学検定料は返還されません。
また、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

・志願票などの出願書類、受験票、解答用紙に故意に虚偽の記入（出願時に本人以外の写真を登録することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）をすること。
・カンニング（カンニングペーパー、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、ほかの受験者の答案等を見ること、ほかの人から答えを教わることなど）をすること。
・ほかの受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
・試験時間中に試験問題や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
・解答開始の合図や指示の前に、試験問題を開いたり、解答を始めること。
・試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。
・試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとします。受験上の配慮が必要な場合はP.24を確認してください。
・解答終了の合図や指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。

（2）前記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、前記(1)と同様です。

・試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具、参考書等をカバン等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
・試験時間中に、携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
・試験に関することについて、自身やほかの受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
・試験場においてほかの受験者の迷惑となる行為をすること。
・試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
・その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

退場について

（1）原則として試験終了まで退場できません。途中退出した場合は合否判定の対象とはなりません。
（2）筆記試験終了後は、監督者の指示があるまで試験場から退出しないでください。
（3）筆記試験終了後、試験問題の取り扱いは監督者の指示に従ってください。なお、解答用紙は一切持ち帰ることができません。
また、面接試験がある場合は、面接試験終了次第、解散となります。
（4）試験当日、大学周辺、または駅周辺での様々な勧誘は本学と一切関係ありません。住所や電話番号などの個人情報を安易に提供することがないよう十分に注意してください。

X 学　費

学 費（2026年度入学者）

■2年次

（単位：円）

学部		法・経済学部			人間科学部			経営・外国語・国際日本学部			理・工・化学生命・情報学部			建築学部		
区分 / 項目		年額	分納 第1分納期	分納 第2分納期	年額	分納 第1分納期	分納 第2分納期	年額	分納 第1分納期	分納 第2分納期	年額	分納 第1分納期	分納 第2分納期	年額	分納 第1分納期	分納 第2分納期
入学金		200,000 (100,000)	200,000 (100,000)	——	200,000 (100,000)	200,000 (100,000)	——	200,000 (100,000)	200,000 (100,000)	——	200,000 (100,000)	200,000 (100,000)	——	200,000 (100,000)	200,000 (100,000)	——
学費	授業料	734,000	367,000	367,000	734,000	367,000	367,000	850,000	425,000	425,000	1,120,000	560,000	560,000	1,120,000	560,000	560,000
学費	施設設備資金	300,000	150,000	150,000	300,000	150,000	150,000	300,000	150,000	150,000	400,000	200,000	200,000	400,000	200,000	200,000
委託徴収金	学会費	2,500	2,500	——	3,000	3,000	——	3,000	3,000	——	——	——	——	3,000	3,000	——
委託徴収金	宮陵会準会員費	15,000	15,000	——	15,000	15,000	——	15,000	15,000	——	15,000	15,000	——	15,000	15,000	——
委託徴収金	後援会費	10,000	10,000	——	10,000	10,000	——	10,000	10,000	——	10,000	10,000	——	10,000	10,000	——
委託徴収金	学生教育研究災害傷害保険	2,600	2,600	——	2,600	2,600	——	2,600	2,600	——	2,600	2,600	——	2,600	2,600	——
合計		1,264,100 (1,164,100)	747,100 (647,100)	517,000	1,264,600 (1,164,600)	747,600 (647,600)	517,000	1,380,600 (1,280,600)	805,600 (705,600)	575,000	1,747,600 (1,647,600)	987,600 (887,600)	760,000	1,750,600 (1,650,600)	990,600 (890,600)	760,000

■3年次

（単位：円）

学部		法・経済学部			人間科学部			経営・外国語・国際日本学部			理・工・化学生命・情報学部			建築学部		
区分 / 項目		年額	分納 第1分納期	分納 第2分納期	年額	分納 第1分納期	分納 第2分納期	年額	分納 第1分納期	分納 第2分納期	年額	分納 第1分納期	分納 第2分納期	年額	分納 第1分納期	分納 第2分納期
入学金		200,000 (100,000)	200,000 (100,000)	——	200,000 (100,000)	200,000 (100,000)	——	200,000 (100,000)	200,000 (100,000)	——	200,000 (100,000)	200,000 (100,000)	——	200,000 (100,000)	200,000 (100,000)	——
学費	授業料	715,000	357,500	357,500	715,000	357,500	357,500	830,000	415,000	415,000	1,120,000	560,000	560,000	1,120,000	560,000	560,000
学費	施設設備資金	260,000	130,000	130,000	260,000	130,000	130,000	260,000	130,000	130,000	320,000	160,000	160,000	320,000	160,000	160,000
委託徴収金	学会費	2,500	2,500	——	3,000	3,000	——	3,000	3,000	——	——	——	——	3,000	3,000	——
委託徴収金	宮陵会準会員費	20,000	20,000	——	20,000	20,000	——	20,000	20,000	——	20,000	20,000	——	20,000	20,000	——
委託徴収金	後援会費	10,000	10,000	——	10,000	10,000	——	10,000	10,000	——	10,000	10,000	——	10,000	10,000	——
委託徴収金	学生教育研究災害傷害保険	1,750	1,750	——	1,750	1,750	——	1,750	1,750	——	1,750	1,750	——	1,750	1,750	——
合計		1,209,250 (1,109,250)	721,750 (621,750)	487,500	1,209,750 (1,109,750)	722,250 (622,250)	487,500	1,324,750 (1,224,750)	779,750 (679,750)	545,000	1,671,750 (1,571,750)	951,750 (851,750)	720,000	1,674,750 (1,574,750)	954,750 (854,750)	720,000

※　上記の学費は入学した年度の学費であり、翌年度以降の学費は異なります。
※　本学卒業者（見込みを含む）に限り「入学金」・「合計」は（　）内の金額となります。
※　経営学部「中長期留学プログラム」の履修者は、留学先の授業料等、留学にかかる費用はすべて本人負担となり、行き先・時期・期間・レート等により変動します。なお、留学中（半期分）の本学授業料および施設設備資金は徴収しません。ただし、留学在籍料として５万円および委託徴収金を徴収します。

納入方法

❶　第一次手続は、期日までに「入学金」を納入してください。
第二次手続は、期日までに「入学手続書類の送付」と、「学費等の納入（入学金以外）」を併せて行うことで入学手続が完了します。

❷　学費は、第１分納期（前学期分）と第２分納期（後学期分）の分納も可能です。
分納を希望する場合は、第１分納期分を入学手続時に納入し、第２分納期分は、入学後2026年10月末までに納入してください。

※第一次手続期間、第二次手続期間にそれぞれ必要な入学手続が行われない場合は、入学の権利が取り消されます。

（注　意）

（1）委託徴収金は、2025年度参考額です。
（2）学会（法学会、経済学会、国際経営学会、人文学会、建築学会）への入会は、会費納入と同時に手続を完了したものとし、会員として取り扱います。各学会は会費によって運営され、「論文集・年報の発行、ゼミ活動支援、講演会の開催等」の事業を行っています。
（3）宮陵会は、卒業生等を会員とする任意の団体です。入会は、会費納入と同時に手続を完了したものとし、準会員として取り扱います。編入学者の宮陵会準会員費は、２年次編入学時に年額15,000円・３年次編入学時に年額20,000円となり、以降、卒業年度まで年額5,000円を納入することで正会員となります。
（4）後援会は、在学生の保護者等を会員とする任意の団体です。入会は、会費納入と同時に手続を完了したものとして取り扱います。会費は、卒業まで年額10,000円です。
（5）本学に在学しているすべての学生は、日本国際教育支援協会の学生教育研究災害傷害保険に加入することが義務づけられています。初年度のみの納入で、在学中の教育研究活動中に被った災害・傷害に対して保険金が交付されます。
（6）教職課程等、資格教育課程の履修者は、登録費等の納入が別途必要です。
（7）学外実習を行う科目では、実習費用（交通費、滞在費、諸経費等）が別途必要です。詳細は、修学キャンパス教務課にて確認してください。

XI 奨学金

各種奨学金の詳細やその他の奨学金は
こちらからご確認ください。

※すべての奨学金には出願・選考が伴います。また、奨学金制度の内容は変更になることがあります（2024年度実績）。

	名称		種類	金額	対象
米田吉盛教育奨学金	伝統ある給費生制度	**給費生制度** 給費生試験の成績によって奨学生としての採用を決める本学独自の奨学金制度です。 2025年12月21日（日）に「全国23会場」で給費生試験を実施し、給費生に選ばれると右記の奨学金が原則4年間給付されます。 卒業後の返還の義務もありません。 （出願基準に世帯収入や成績条件はありません。）	給付	■ 入学金相当額（20万円）給付 ■ 法・経済学部：年額 105万円 ■ 経営・外国語・国際日本・人間科学部：年額 115万円 ■ 理・工・建築・化学生命・情報学部：年額 155万円 ↓ 原則として4年間給付　＊毎年継続審査あり さらに 自宅外通学者には年間70万円の生活補助金を給付	給費生試験で給費生に合格した者
	入学前に採用候補者が決定	**予約型奨学金** 高校を卒業見込みで、高校の成績及び収入が一定の基準を満たす学生を支援します。 ▶成績基準：評定平均4.0以上 ▶家計基準：主たる家計支持者及び従たる家計支持者（原則父母）の収入合計が700万円以下		自宅所在地が 神奈川県・東京都の学生 ■文系学部：年額 20万円 ■理工系学部：年額 30万円 神奈川県・東京都以外の学生 ■文系学部：年額 40万円 ■理工系学部：年額 50万円 原則として4年間給付　＊毎年継続審査あり	一般入試(前期)、大学入学共通テスト利用入試(前期)に出願予定の受験生
	1年次の経済的負担を軽減	**新入生奨学金*** 高校の成績が一定の基準を満たし、かつ経済的理由により修学が困難な新入生を支援します。 ▶成績基準：評定平均3.5以上 ▶家計基準：主たる家計支持者および従たる家計支持者（原則父母）の収入合計が700万円以下		▶文系学部：20万円 ▶理工系学部：30万円 （新制度の第Ⅳ区分（理工系）の対象者は10万円）	1年次
	自宅外通学をサポート	**地方出身学生支援奨学金*** 神奈川・東京（伊豆・小笠原諸島を除く）を除く地方出身者で、自宅外通学の学生を支援します。 ▶成績基準：評定平均3.5以上 ▶家計基準：主たる家計支持者および従たる家計支持者（原則父母）の収入合計が700万円以下		20万円	
	2年次以降の経済的負担を軽減	**修学支援奨学金*** 経済的理由により修学が困難で、一定の学業成績を満たし、学業成績、人物ともに優秀な学生を支援します。 ▶成績基準：通算標準修得単位数以上・GPA 2.5以上（前年度） ▶家計基準：主たる家計支持者および従たる家計支持者（原則父母）の収入合計が700万円以下		▶文系学部：20万円 ▶理工系学部：30万円 （新制度の第Ⅳ区分（理工系）の対象者は10万円）	2～4年次
	目標に挑戦する志を応援	**学術研究活動支援奨学金** 将来における明確な目標を持ち、学業成績、人物ともに優れ、かつ、学術研究分野において優れた実績を上げた学生を支援します。		2万円～	全年次
	資格取得に取り組む人に	**指定資格取得・進路支援奨学金** 司法試験や公認会計士、税理士、国家公務員採用総合職試験など、難易度の高い資格試験合格やTOEIC®での高得点取得などに挑戦し、実績を上げた学生を支援します。		資格・進路による （10～30万円）	
	海外留学資金をサポート	**海外活動支援奨学金** 短期海外研修や交換留学などに参加する学生を支援します。 （一部成績基準あり）		短期　：5万円 長期(派遣)：月額8～12万円	
	外国人留学生に学びの機会を	**外国人留学生授業料減免制度** 学業成績・人物ともに優秀で一定の学業成績を満たし、経済的理由により修学が困難な私費外国人留学生の授業料を減免します。 ▶成績基準：通算標準修得単位数以上・GPA 2.5以上（前年度） ＊1年次生は成績基準なし	減免	▶文系学部：20万円 ▶理工系学部：30万円	私費外国人留学生
	神大から神大の大学院に進む人へ	**神奈川大学出身者支援奨学金** 神奈川大学を卒業し、本学大学院に進学することを早期から希望する学生で、学業成績、人物ともに優秀な学生を支援します。	給付	▶理・工学研究科：22万円 ▶その他の研究科：15万円	本学学部生（卒業予定者）
	学業において優秀な成績を修めた学生を支援	**学業成績優秀者奨学金** 「神奈川大学学業成績優秀者表彰制度」により、成績優秀者として表彰された学生を支援します。		■最優秀者：40万円 ■優秀者：20万円	全年次
神奈川大学独自の奨学金	「報恩、感謝、功徳」の精神を次代へ	**村橋・フロンティア奨学金** 本学卒業生・村橋三好氏の篤志から生まれた奨学金制度です。 氏の精神「報恩、感謝、功徳」を理解し、その想いを引き継ぐ学生を支援します。	給付	▶文系学部：50万円 ▶理工系学部：60万円	1・2年次
	在学生の保護者中心の団体（後援会）も学生をサポート	**神奈川大学後援会給付奨学金*** 成績・人物ともに優秀で経済的理由により学費の支弁が困難な学生を支援します。		20万円	全年次
	家計が急変した学生を支援	**一般社団法人神奈川大学宮陵会給付奨学金** 学業・人物が優秀で勉学意欲を持ちながら、家計が急変（家計支持者の死亡など）したために、学業の継続が困難になった学生を支援します。		25万円	原則として学部4年次
	多様な学習環境において修学及び学生生活に励む学生を支援	**神奈川大学激励奨学金*** 成績・人物ともに優秀な学生、経済的理由による修学困難な学生(*)、課外活動などで活躍する学生も対象にした奨学金制度です。		10万円	学部生・大学院生

＊国による高等教育の修学支援新制度（日本学生支援機構給付奨学金・授業料等減免）との併給不可（ただし、第Ⅳ区分（理工系）の対象者を除く）
※神奈川大学後援会給付奨学金と神奈川大学激励奨学金は、第Ⅳ区分（理工系）も併給不可となります。

●大規模災害発生時の経済的支援
大規模な災害が発生した際、罹災状況によって学費を50%もしくは100%減免するなど、経済的支援を行う制度を設けています。

その他にも大学生が利用できる「独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）」などの外部団体の奨学金や、地方自治体の奨学金もあります。本学を通じて申し込むものと、団体に直接申し込むものがありますので、詳しくはそれぞれの団体にお問い合わせください。

本学は、国による「高等教育の修学支援新制度」の対象校です

XII 障がいおよび病気等のある方へ

◆障がいや病気等の理由により、入学試験当日および入学後の修学に関する配慮を必要とする受験希望者は、以下に記載の期日までに本学入試センターまでご相談ください。事前の申請がない場合、または期日後の申請については、入学試験において配慮できない場合がありますのでご注意ください。

※給費生試験、一般入試（前期）【全学統一型】の地区試験会場では、配慮できない場合があります。

総合型選抜（総合評価型）等、10月に受験予定の方	2025年 8月22日（金）
指定校制推薦入試、総合型選抜（適性検査型）等、11月に受験予定の方	2025年 9月19日（金）
給費生試験・外国人留学生入試を受験予定の方	2025年10月31日（金）
一般入試（前期）・大学入学共通テスト利用入試（前期）を受験予定の方	2025年12月 5日（金）
一般入試（後期）・大学入学共通テスト利用入試（後期）を受験予定の方	2026年 1月16日（金）

また、試験当日に配慮を必要とせず、入学後の修学に関する配慮が必要となる場合は、大学での生活にスムーズに移行できるよう、合格後速やかにお申し出ください。なお、海外留学を必須とする学科を志望する場合や、必須でない場合でも、海外留学を強く希望する場合は、出願開始の２か月前までにお申し出ください。

◆試験当日に拡大鏡、補聴器、車椅子の使用等を希望する場合にも期日までの相談をお願いします。

◆不慮の事故等により、出願後に配慮が必要になった場合は、速やかにお申し出ください。

※オープンキャンパス・大学見学では、大学の状況を知ることができ、入学後の修学に関する配慮について相談することもできますので、予約をしたうえでお越しください。なお、電話での個別相談も受け付けています。

障がいの種類	受験上の配慮対象となる例
視覚障がい	・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障がいが高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
聴覚障がい	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
肢体不自由	・体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者または困難な者 ・両上肢の機能障がいが著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
病弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療または生活規制を必要とする程度の者またはこれに準ずる者
発達障がい	・学習障がい、注意欠如・多動症（注意欠陥多動性障がい）、自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい等）等のため配慮を必要とする者
その他	・上記以外の者で配慮を必要とする者

XIII 入試結果

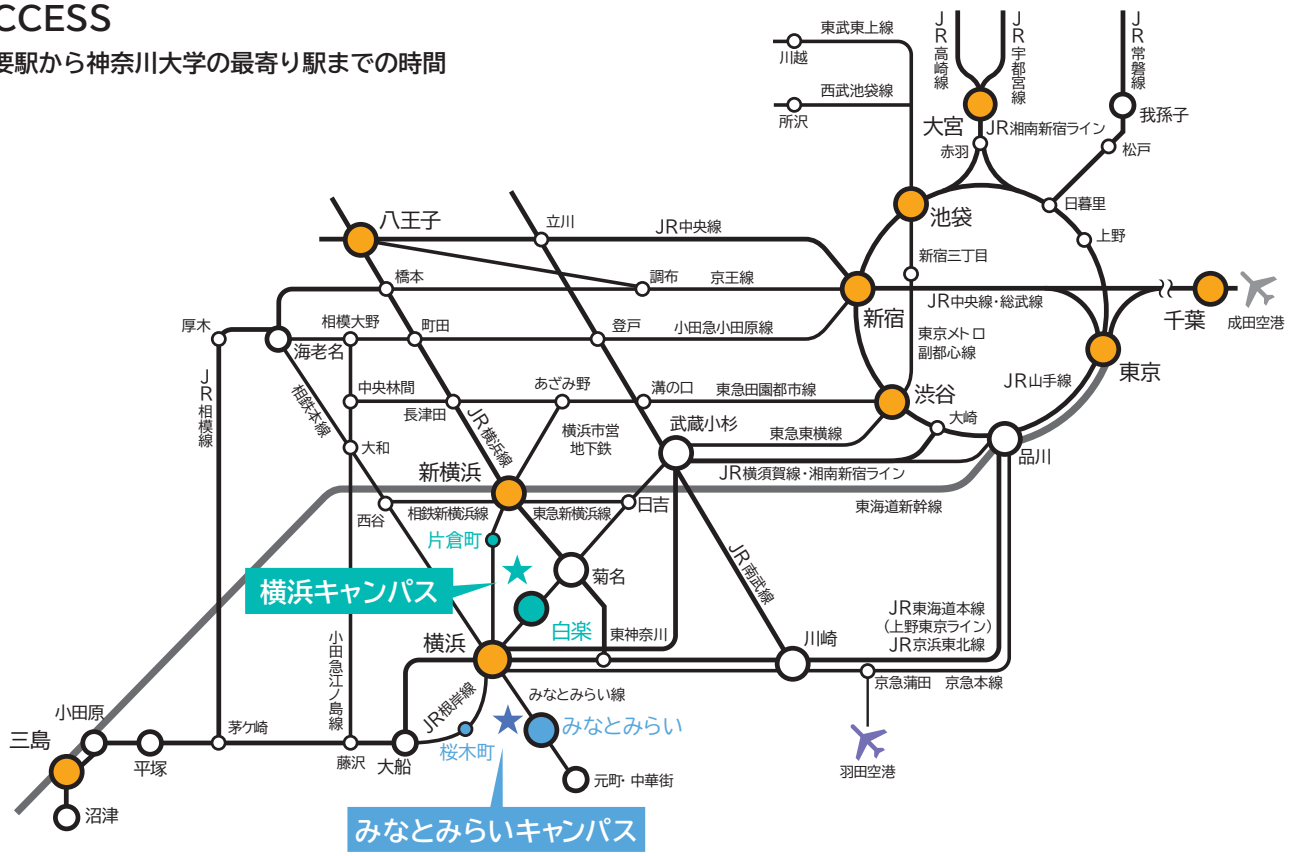
2025年度入学試験結果は本学公式ホームページに掲載されています。

2025年度入学試験結果

XIV アクセス

ACCESS

主要駅から神奈川大学の最寄り駅までの時間



横浜駅	東急東横線 白楽駅まで5分 みなとみらい線 みなとみらい駅まで3分
新宿駅	山手線「渋谷」→ 東急東横線 白楽駅まで30分 山手線「渋谷」→東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで35分
三島駅	東海道新幹線「新横浜」→横浜線「菊名」→東急東横線 白楽駅まで44分 東海道新幹線「新横浜」→横浜線「菊名」→東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで51分
新横浜駅	横浜線「菊名」→東急東横線 白楽駅まで20分 横浜線「菊名」→東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで22分
池袋駅	副都心線＜直通＞東急東横線 白楽駅まで34分 副都心線＜直通＞東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで39分
大宮駅	埼京線「渋谷」→副都心線＜直通＞東急東横線 白楽駅まで62分 埼京線「渋谷」→東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで67分
千葉駅	総武・横須賀線「横浜」→東急東横線 白楽駅まで76分 総武・横須賀線「横浜」→みなとみらい線 みなとみらい駅まで73分
東京駅	東海道本線「横浜」→ 東急東横線 白楽駅まで31分 東海道本線「横浜」→みなとみらい線 みなとみらい駅まで28分
渋谷駅	東急東横線 白楽駅まで23分 東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで28分
八王子駅	横浜線「菊名」→東急東横線 白楽駅まで53分 横浜線「菊名」→東急東横線・みなとみらい線 みなとみらい駅まで57分
羽田空港	京浜急行リムジンバス「横浜駅(YCAT)」行 横浜駅まで約31分 京急本線 横浜駅まで約17分

※所要時間は乗り換えなどの時間を含みません。

横浜キャンパス

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL: 045-481-5661(代)

東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車
≫ 徒歩約 13 分

横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用
(東神奈川駅西口経由)
≫ 約 14 分
1 番のりば【36 系統】菅田町 / 緑車庫前行
「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車
1 番のりば【82 系統】八反橋 / 神大寺入口行
「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

片倉町駅前（横浜市営地下鉄）から横浜市営バスを利用
≫ 約 14 分
2 番のりば【36・82 系統】東神奈川駅西口 / 横浜駅西口行
「六角橋西町」または「神奈川大学入口」下車

横浜駅西口からタクシーを利用
≫ 約 10 分

事務局のある 1 号館や入試センター・セレストホールのある 16 号館へは「神奈川大学入口」で、20・23 号館や神奈川大学生協へ行く場合は「六角橋西町」で下車すると便利です。
＊駐車場はありません。

みなとみらいキャンパス

〒220-8739 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-5-3
TEL: 045-664-3710(代)

みなとみらい線「みなとみらい駅」下車　≫ 徒歩約 6 分

みなとみらい線「新高島駅」下車　≫ 徒歩約 4 分

JR・東急東横線・京急本線・相鉄本線・横浜市営地下鉄「横浜駅」下車　≫ 徒歩約 11 分

JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」下車　≫ 徒歩約 12 分

＊駐車場・駐輪場はありません。

XV 神奈川大学の個人情報（及び保有個人データ）の取り扱いについて

神奈川大学では、教育、研究及び学生支援に必要な業務を遂行するため、十分な安全管理措置を講じた上で、以下の利用目的を定め、その達成のために個人情報（及び保有個人データ）を利用します。また、これらの利用目的を変更する場合は、変更前の利用目的と関連性を有すると合理的に認められる範囲において行い、変更した利用目的を本人に通知又は公表します。
資料請求等にあたって入試センターにお知らせいただいた個人情報については、以下のとおり取り扱います。

◆個人情報（及び保有個人データ）の利用目的

お知らせいただいた個人情報（及び保有個人データ）は、以下の利用目的のために使用します。

1．志願者の個人情報（及び保有個人データ）
　（１） 受験情報誌、入学試験要領等の送付のため
　（２） オープンキャンパス、相談会等の案内のため
　（３） その他入試広報のため

2．出願者の個人情報（及び保有個人データ）
　（１） 受験票等の発行及び送付のため
　（２） 入学試験の運営のため
　（３） 入学試験の調査及び分析のため

3．合格者の個人情報（及び保有個人データ）
　（１） 入学手続書類等の作成及び送付のため
　（２） 入学辞退等の手続のため
　（３） 入学前教育のため
　（４） 入学後の習熟度別クラス編成のため
　（５） 入学試験の調査及び分析のため

◆個人情報（及び保有個人データ）の第三者提供について

1．神奈川大学では、個人情報（及び保有個人データ）の第三者提供は、以下の場合に限り行います。
本法人は個人情報保護法第27条に基づき、次に掲げる場合を除くほか、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人情報（個人データ）を第三者に提供しません。
　（１） 法令に基づく場合
　（２） 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
　（３） 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
　（４） 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
　（５） 個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除き、当該個人データの提供が学術研究の成果の公表又は教授のためやむを得ないとき。
　（６） 当該個人データを提供する目的の一部又は全部が学術研究目的である場合であって、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除き、当該個人データを学術研究目的で提供する必要があるとき。ただし、本法人と当該第三者が共同して学術研究を行う場合に限る。
　（７） 当該個人データを取り扱う目的の一部が学術研究目的である場合を含み、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除き、当該第三者が学術研究機関等である場合であって、当該第三者が当該個人データを学術研究目的で取り扱う必要があるとき。

なお、利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報の全部又は一部を委託する場合は、第三者への提供に該当しません。

2．業務委託等について
本法人は、個人情報の取扱いを含む業務の一部又は全部を学外の業者等（以下「受託者」という。）に委託する場合、守秘義務を明記した契約の締結とともに、業務目的の達成に必要な範囲内において情報を提供するものとし、個人情報の安全管理が図られるよう、別に定める個人情報の取扱業務に関する委託先管理基準に基づき、受託者に対する必要かつ適切な監督を行います。

◆個人情報の取扱い等に関する問合せについて

この個人情報の取扱いに関する問合せ、個人情報の内容の開示、訂正等の申出については、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】　神奈川大学　入試センター　TEL：045-481-5857　（月～金曜日 9：00～16：00）
E-mail：admissioncenter@kanagawa-u.ac.jp

KU 神奈川大学入試センター

〒221-8624　横浜市神奈川区六角橋３-26-1
（TEL）045-481-5857
（FAX）045-481-5759

神奈川大学公式ホームページ https://www.kanagawa-u.ac.jp/